

## ランチョンセミナー 27 [LS27]

日時：2026年4月11日(土) 11:50～12:50

会場：Room 6 501 (福岡国際会議場)

4月11日(土)

Santen

## 眼瞼下垂治療を考える

～疾患理解から治療実践まで～

座長



渡辺 彰英 先生  
(京都市立医科大学  
眼科 講師)

座長



石川 均 先生  
(北里大学 医療衛生学部  
視覚機能療法学 教授)

演者 1

眼瞼下垂の  
基礎と治療意義

田邊 美香 先生  
(九州大学 眼科 診療講師)

演者 2

## 眼瞼下垂治療のエビデンス

## 石川 均 先生

(北里大学 医療衛生学部  
視覚機能療法学 教授)

演者 3

眼瞼下垂治療の  
実践上のポイント

三村 真士 先生  
(くろしお眼科・形成クリニック 院長)

眼瞼下垂は、上眼瞼の挙上障害により、開瞼時の眼瞼維持が困難になったり、眼瞼が下がったりする疾患であり、加齢をはじめ種々の神経眼科疾患までさまざまな原因によって発症します。

目が開けづらい、上方視野の狭窄などの視機能低下が生じるだけでなく、様々な症状を引き起こし、QOLに影響を及ぼす可能性がある疾患といえます。また、背後に動眼神経麻痺や重症筋無力症などの重篤な疾患が隠れていることもあります。

診療においては、病態の理解や適切な評価が重要であり、治療方針の決定には多角的な視点が求められます。診断・評価方法や手術手技の改良などにより、患者さん一人ひとりに適した治療の提供が目指されています。

本セミナーでは、眼瞼下垂の基礎的知識から、診断・評価のポイント、治療の発展に関する知見、さらに臨床現場での対応について、豊富な知見をお持ちの先生方にご講演いただきます。本セミナーが、眼瞼下垂診療を皆様とともに考える機会となることを願っています。